

京都革新懇

No206 会員ニュース 2009年 10月10日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会
http://www.kyoto-kakusinkon.com

〒606-8397
京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館
TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の 3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

全国革新懇 「総会・交流集会」

10月24日～25日
奈良市

京都革新懇 第3回交流集会

11月28日(土) P1～
京建労会館

インタビュー



宮本博司 (みやもとひろし) さん

1978年に旧建設省に入る。河川開発課課長補佐などを経て、苦田ダム、長良川河口堰を担当。国交省近畿地方整備局淀川河川事務所長として淀川水系流域委員会の立ち上げに尽力。同局河川部長をへて本省河川局防災課長を最後に2006年退職。現在は(株)樽徳商店会長。本物の木の復活が夢。新淀川水系流域委員会には一市民として応募。委員長に就任。

「地域が主役」いま一度

中央集権的「霞ヶ関」の仕事に對抗

淀川流域委員会は、従来と違って、結論ありきでない画期的な「委員会」といわれています。この委員会に関わられた宮本さんのお考えをお聞かせ下さい。

(宮本) 淀川流域委員会の一番大きな特徴は、最初から落としどころを決めないということ。みんなで常に現場と協議しながら、みんなで思いを共有しながら作っていくということをやってきました。何年か経って、新しい施策も出し、根本的に河川の整備のしかたを変えていくと、とりくんできました。

しかし、あれだけ委員会が意見を言っても、地元の知事さん方があれだけ意見表明をされても、やっぱり流域委員会は国交省の諮問機関なんですよね、だからいくら意見を言っても、国交省が「気に入らん」と言うことになれば、「私らは意

見を聞いたけどこつちでやりますわ」で終わってしまう。そこは流域委員会の限界だったと思います。

淀川流域委員会での活動を通じて、宮本さんが世の中に伝えたいものは何ですか。

(宮本) 河川法という、中央集権の仕組み、その中での流域委員会ですから、その限界があるけれど、もう一回地域から地域で責任を持って議論して、そして地域で、物事を決めていく。その主体になるだろうと思いますよ。

総選挙が終わって、政権が変わった。そういう新たな政府の中で、従来の中央集権的な、霞ヶ関で物事を決めて、地域に押しつけてくるありようが変わるのかどうか、ポイントはそこだと私は

思っています。

生命を実感できる樽づくり 命のつながりある社会へ

宮本さんは、最近、家業の樽づくり
に転身されたとか。

(宮本) 二年前からやってきましたけど、ようやくいま、集中するようになりました。私は元々樽屋やから、技術の仕事をしたいなあと思っていたんです。

もう少し自分なりに考えると、やっぱり森林とか農業、第一次産業をベースにしなければならぬ、ということですね。そしてこのベースに、商工業などが絡んで、付加価値をつけるという風な社会というか世の中になしないと、絶対もたないと思います。

私がやり始めた樽づくりも、些細なことだけど、一つの材木を使っています。私はこの技術を得ていくかと思っただけです。

それから、木というのは、理屈ぬきで生き物ですよ、埃被って表面が汚れた木でも、削ると新しい木目が出てくる。木肌、それは命です。

こうした命と繋がっている中での「社会」とか生業というか、それを戻さないと、いけないな、と考えるのです。私は本当の意味で人間の、自分は生きています、というものを、この仕事を通じて感じることが出来る。

だからそういう意味でも私は、桶造りというのは、まだ完成してないけれど、やり始めてよかったなあと思います。

京都百人参加で全国革新懇総会・全国交流集会成功を！ 全国総会・交流会に向けて三〇〇人読者・会員拡大を！

— 第5回拡大常任世話人会 —

京都革新懇は9月19日、各地域・職場から代表25人が参加して、京都市下京区の新町会館で第5回拡大常任世話人会を開きました。



次の二つの提案が行われ承認されました。

◆10月24・25日に奈良で開催される全国総会・交流会成功をめざす元氣・勇氣・希望溢れる交流、若い世代が学び・集い・つながりで革新的未来を切り開く集いに京都から100人参加目標で取組む。志位さんの特別発言に期待を。1日参加も積極的に京都40人の宿泊予約。

◆全ての市町村(行政区)で革新懇づくりをめざす。7月以降31人拡大で現勢1352人・残168人に、全国革新懇ニュース読者・会員1300人をめざす運動に全力を上げる。

日本共産党京都府委員会川口国民運動副責任者から「総選挙後の情勢の特徴」と題して特別報告が行われました。

川口さんは、「総選挙の結果、新しい政治を追求する時代が本格的に到来した」「日本共産党の善戦・健闘によって9議席、比例票494万4000票

を確保した」「民社国連立政権のもとで、日本の政治をどうやって前に進めるか」について「日本共産党は建設的野党の立場。良い事には協力。悪い事にはきっぱり反対する。国民的なたたかいと総選挙の審判が、切実な国民的要求実現の新しい情勢を切り開いた。国民運動がいよいよ重要な局面になった」と報告しました。

奈良革新懇横山事務局長から「奈良県における革新懇づくりの経験」と題して特別報告が行われました。

横山さんは、「奈良革新懇は、日本共産党と定期懇談をかきねながら革新懇運動の“そもそも論”を論議し、6年前には2地域だったのを現在12地域に革新懇を立ち上げた」「総会・交流会は二年前から準備している。奈良は700人参加をめざす。青年革新懇も実行委員会を重ね企画充実をめざしている。奈良革新懇躍進のチャンスにしたい。京都からも積極的な参加を」と訴えられました。

討論では5地域・団体7人から発言いただきました。

●城民懇事務局次長・岡本やすよ
総選挙の後、変わっていく日本、一票によって国が変わることが実感できた。私は城陽市長選挙の候補者となって

多くのみなさんに応援いただいた。革新懇でのつながりのありがたさがよくわかった。心からお礼を申し上げたい。「新しい情勢と九条を守る運動の進め方」のテーマで小森陽一講演会を10月3日に開催する。全国総会・交流会に参加して全国の活動から大きな刺激をいただいで、さらに良い城民懇にしたい。

●京都市民連会長・尾崎 望

後期高齢者医療制度廃止、障害者自立支援法廃止、生活保護母子加算の復活、利用者負担増にならない介護報酬の引き上げ、の実現に向けて署名を取り組む。また、5万筆目標で新核廃絶署名運動も平行して進めていき、来年の国連NPO再検討会議に5人派遣していく。共同組織5万6千ほどいるが、秋の月間で増やし、地域医療を破壊した山田府政を転換して、組織内候補である門さん勝利に向けて全力をあげたい。

●革新・山科の会代表・谷口 昇

総選挙の結果を見て、日ごろの切実な要求を掲げての各種署名運動が大きな力を発揮したと思う。第一歩が開けた。山科は平和ネットをつくって核兵器廃絶、憲法九条を守る運動も強めている。日常運動の積み上げが必要だ。国民が主人公とはどういうことか、あらためて考える機会としたい。山階学区では17人で出発したが今は130人になつていく。

●革新・山科の会事務局次長 野原孝喜

山科はねばり強くニュースを定期発行している。街頭宣伝も繰り返している。地元を見つめなおそうと「山科二千年の歩み」を語る本が発行された。普及を訴えている。奈良での全国総会・交流会は、なんとでも成功させたい。読者・会員拡大も3人拡大して77人になった。

●舞鶴革新懇代表・佐渡 一郎

舞鶴港にイージス艦が入ってきた。寄港反対の闘いを取り組んだ。アメリカの公安が写真を撮るなど運動をみている。九条の会の運動を強めている。奈良に向けて頑張りたい。北部は介護難民が増えている。介護施設が全国最低だ。日韓併合問題学習会を100人参加で成功させた。

●共産党府会議員団・梅木 紀秀

9月24日から府議会が始まる。補正の内容が明らかになっている。全体の内容はこれからだが、私学減免の前進、住宅改修助成の変形など、少しずつ運動で変化してきている。学費ゼロネットの運動が特徴的だ。

●城民懇事務局次長・栄 茂泰

城陽市長選挙は民主市政の会でアンケートをとって政策の骨子を作った候補者を擁立した。岡本さんは最後の啓だった。民主党が山井議員の影響で独自候補を出した。政策的には二極対決であった。票は国政選挙にリンクしていた。

日程のご案内

全国革新懇第29回総会
全国交流会 堺良

10月24日(土)13時～18時 於:奈良県文化会館国際ホール
 全国総会 12時受付 13時～15時40分
 全国交流会全体集会 16時～18時
 開会冒頭・特別発言(40分) 志位和夫日本共産党委員長

10月24日(土)18時15分～ 於:奈良県文化会館小ホール
 革新懇青年のつどい「しい鹿ナイト」
 志位和夫さんが出席

10月25日(日)9時～12時
 於:奈良県文化会館・中小企業会館・教育会館
 分散会(地域・職場・青年)

●参加協力費 1000円(1日のみ500円) ●どなたでも参加できます。

地域・職場革新懇からの報告

「宇治久御山革新懇のつどい」

9月19日(土) 午後2時から「宇治市産業会館 多目的ホール」で「宇治久御山革新懇のつどい」を開催しました。(34人の参加)

永良系二代表の挨拶、平林英男氏の司会ではじまり、「琵琶湖淀川水系の水需要と水資源開発」と題して仲上 健(立命館大学政策科学部 教授)氏と、志岐常正(京都大学名誉教授)氏にお話ししていただき、懇談をしました。

宇治市水道がかかえている、人口減少と、使用水量の減少により、水余りと経営問題など、今後の課題について、その根本についてグローバルな話も含めて、お話ししていただいた。目から鱗のような話だった。そして、各参加者のお話は、大切な問題ばかりであり、大変有意義な懇談になりました。

仲上氏のお話

地球温暖化による経済損失が毎年400億ドルもあること。
 アジア大陸では、世界の人口の60%が存在し、その水資源量は36%である。655百万人が安全な飲料水を飲めない状況であり、19億人が基本的な衛生施設が設置されていない。

アジア太平洋地域は、世界の水関連の総死者数の約80%を占めている。

水に投資することは貧困の減少に投資することである。投資を水供給や衛生施設に使用することは、貧困の人々が少なくとも水をえることであり、同時に健康の救済ともなる。また、アジアの河川は先進工業国の20倍の鉛が含まれており、WHOのガイドラインの50倍以上の人間活動に関するバクテリアが存在する。(水谷)9月19日(土) 午後2時から「宇治市産業会館 多目的ホール」で「宇治久御山革新懇のつどい」を開催しました。(34人の参加)



二〇〇九年城陽市長

選挙を闘って

くらし・民主・平和をまもる

城陽懇託会事務局長 岡本やすよ



7月27日(月)夕方、市長候補の要請がありました。青天の霹靂……どうして私なの?勝てないでしょ!でも、すぐ断れませんか。

8月3日(月)説得に負けて決意。候補者がなくて不戦敗にしたくない。8月8日(土)記者会見と「市民の会要求交流集会」で決意表明。父が誕生時に贈ってくれたアルバムの言葉「すべての勤労者の子の生まれて当然辿らなければならぬ苦難の道を歩む。そして新しきよりよき社会を創りゆく、その思い出の写真集たらしめるを望む」を紹介し、憲法を守る理想の市政に変えよう。力を合わせよう。We have the power!と呼びかけました。

8月30日(日) 8171票。21日間、知名度のない候補者を支え運動をした結果。みんなで二所懸命でした。私たちには力がありました。

市民にしわ寄せをする市政を変えることは出来なかつたけれど、次の運動の卵は見つけたので、ゆつくりと育てます。今までで一番楽しかった選挙活動をありがとうございました。

門ゆづすけさん人柄紹介

平和が脅かされれば、医療も 社会保障も存在できない

京都民医連 会長 尾崎 望

門先生の人となりを紹介するとすると語るべき中身はたくさんあります。

一番お伝えしたいのは何と云っても水俣病とのかかわりですが、これはあまりに有名になりすぎてしまつて皆さんも十分にお聞きおよびのことと思つてますのでやめときます。ひとことだけ言わせてもらつたら、専門性とヒューマニズムを併せ持ったすぐれた臨床医だということです。

続いてこれも少しづつ知られるようになってきましたが平和運動とのかかわりです。門医師は長年京都反核医師の会の世話人をつとめてきました。それを通じて多くの医師・医療関係者とのつながりを持つています。医師として率先して、地道ながら核兵器廃絶の思いをうつつたえつづけてきたわけですね。

門医師と平和のかかわりをもつとも特徴的に語ることは言えば、京都民医連が昨年開講した平和塾の塾長としての活動です。民医連は患者さんの立場に立つて親切でよい医療を実践することを基本に置いた医療機関の集まりですが、こうした活動に加えて平和を守る運動を大切にしてきました。

考えてみれば当たり前前のことですが、

平和が脅かされれば医療も社会保障も存在できません。昨年、改憲に向けたきなくさい活動が進められる情勢のもと、京都民医連として平和と憲法を守る運動を第一義的な課題と位置づけて、全職員的に取り組もうという方針を立てました。その二環として当時会長をしていた門医師が中心になって平和塾を開講したわけですね。

京都民医連に働く青年職員から10名くらいの塾生が選ばれました。門医師が平和塾にかけた思いは、とりわけ青年職員が平和活動の担い手になってほしいということだったようですね。

被爆体験医師の肥田俊太郎先生の開講記念講演に始まり、京都の戦争遺跡をたずねたり、語り部のお話を伺つたり、韓国をおとすれて日本軍国主義の残虐行為の歴史をたどつたり、など院長職などなど超多忙な中を、文字通り青年職員と行動を共にしてかたりあい、励まし合つてきたわけですね。

塾生の塾長に対する信頼はきわめてあつたものがあり、門知事の誕生に向けて塾生も奮闘してくれています。

歴史のある京都から平和と反核のメッセージを宣言するなんていうのは意義も大きいしめっちゃくちゃ痛快ですよ。



伏見革新懇が再開のつどい

10月17日(土)

伏見革新懇は、「総選挙の結果は、新しい歴史の幕開けをつげるものとなりました」として、伏見での新たな運動の前進をめざして再開のつどいを開催します。

日時 10月17日
(土)午後1時30分開
会、会場 とうぞう館(藤森神社南参道西隣り)
第1部記念講演「新しい歴史の始まりと革新懇運動」渡辺和俊さん(日本共産党府委員長)、第2部伏見革新懇再開総会

<<各団体などの日程>>

- ・民主府政の会「府民のつどい」 10月9日(金) P7～みやこメッセ
- ・日本うたごえ祭典 10月23～25日 京都府立体育館他
- ・全国中小商工研究集会 10月31日～11月2日 シルクホール・中企会館
- ・生かそう憲法・守ろう9条11/3憲法集会 11月3日(火)午後 円山音楽堂
- ・新しい未来(あす)へ!11/8国民大集会 11月8日(日) 東京・代々木公園
- ・京都革新懇第3回交流集会 11月28日(土)京建労会館
- ・新婦人京都府本部第34回大会 11月29日(日) ラポール京都ホール
- ・京都国民春闘討論集会 12月12日～13日
- ・「民主府政の会」新春のつどい 2010年1月7日(木)

革新懇の活動を

「知ろう・学ぼう・交流しよう」ツアー

京都青年ツアー実行委員会

2009年10月24日～25日、「革新懇・全国総会&交流会(以下「全国総会&交流会」)」が奈良県で開催されます。昨今、全国的には都道府県単位の「青年革新懇」が結成されるなど、新たな運動の芽が生まれています。当日の「全国総会&交流会」で、1日目は、日本共産党・志位和夫委員長を招いて「革新懇・青年のつどい」が催されます。2日目は、青年分散会「参加者全員主役の交流&討論会」が開かれ全国の青年革新懇の活動報告と交流が行われます。

今回の「知ろう・学ぼう・交流しよう」ツアーは、革新懇でがんばる青年・学生のみなさんの活動に直接触れることで、その活動を知り、学びあい、お互いの活動の前進の力にしていこうことを目的に実施します。

青年・学生諸団体、労働組合青年部で奮闘する方、革新懇の活動に関心をもつ青年・学生のみなさんの参加をお待ちしています。

日時 10月24日(土)

集合時間と場所 16時に京都駅八条口(1階)中央に集合
交通手段は電車です。

費用 2000円程度(往復交通費+参加費)

参加申込は、民青同盟京都府委員会まで